

# 《 茨城新聞に掲載されました 》

## 児童、考案製品プレゼン

美浦 木原小 Tシャツやクリーム

子どもたちに働く楽しさを知ってもらおうと、美浦村木原の村立木原小(戸張)の6年生37人が、深雪校長の授業の一環で考案したTシャツやハンドクリー



デザインした製品のプレゼンテーションをする児童たち＝美浦村木原

ムなどの製品のプレゼンテーションを行った。村商工会や村内にある金融機関の3人が審査を務め、製品の販売に向けたアドバイスを送った。

同授業は、商工会と連携して起業から納税までを体験する取り組み「キッズ☆カンパニー」の一環。児童たちは7班に分かれ、班ごとに会社を立ち上げる。

販売する製品のデザインや値段などを決め、商工会員らに対し融資のプレゼンを行う。審査に合格すると製品を同商工会に購入してもらい、商工会のホームページと村の直売所で販売できる。

この日、張り詰めた空気の中で、子どもたちは製品を紹介し、審査員の質問に答えた。プレゼンの出来や価格、販売個数の設定、ネットで売するための工夫がなされているかといった点が審査され、7班中1班が承認を受けた。

販売が決まった会社の中

島碧唯「社長」(12)は「質問が怖かったけど、審査に通ってほっとしています」と笑顔を見せた。残りの6班は23日の再審査に向けて準備を進めている。

同イベントは今年で8年目。「自分たちのアイデアでチャレンジする仕事の楽しさを、子どもたちに知っ

てほしい」という村商工会員と木原小の教員の思いで立ち上げられた。担任の菅沼祐子教諭(47)は「コロナでいろいろな制限がある中でも、新しい発想でこんなことができるって考えるきっかけになってほしい」と話した。

(木村優斗)